

200種以上・3500本のバラ咲く三河地区最大のバラ園 西尾市バラ園 5月より見ごろ迎える

JA西三河 憩の農園（西尾市齊藤町大割28）に併設されている**西尾市バラ園**は、三河地区最大規模で、200種・約3500本のバラを植えています。バラが一番の見ごろを迎えるのは5月以降で、この時期には毎年県内外から来場者が多く訪れています。赤やピンクなど色とりどりのバラが咲き誇り、甘い香り漂うバラ園は、近隣の住民の散歩コースや憩いの場としても人気です。

■バラ園の見どころ案内



温室

野外展示庭園よりもひと足早く満開となり、バラの香りに満ちています。



野外展示庭園

色とりどりのバラが2000本以上。



つるバラのトンネル

バラ園の入口にある、ツル性のバラが絡まった高さ約5mのトンネル。

今年のバラ園

今年は例年よりも気温が高く、見ごろの時期は1週間ほど早くなると予測されます。5月の大型連休には、温室・野外展示庭園ともに一番の見ごろを迎え、園いっばいにバラが咲き誇るでしょう。
(今後の気候により時期は変動の可能性があります)

■西尾のバラ生産

西尾市は県内でも有数のバラ産地。17軒のバラ農家が年に約600万本のバラを生産し、関東・関西・中京方面へ出荷しています。

バラは西尾市の花に指定されており、市の名前にちなんだ品種「にしお小町」も作られています。市民とバラの関わりも深く、西尾駅前や西尾市役所などではバラの花壇が市民の目を楽しませています。



バラ園展示庭園の「にしお小町」
赤い大輪で、バラ栽培の愛好家に人気。